


頸椎手術経過表 ()様 前方固定1椎間プレート


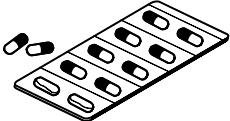


月日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院後手術前日まで	手術前日	手術当日(術前) " (術後)	
目標	身体的、精神的に安定した状態で手術を迎える事ができる ○手術についての説明の内容が理解できる。 ○不安な事や、分からない事を伝える事ができる			
処置・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・入院生活についての説明をします ・循環器など必要な科の診察検査があります ・手術前後の説明をします ・技師による装具の採寸があります ・薬剤師より薬についての説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合、麻酔科の医師による術前診察があります ・手術室の看護師が病室に訪問します。 ・必要な場合、剃毛します ・手術の時に着用する弾性ストッキングの採寸をします ※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝排便がなければ坐薬もしくは、浣腸を行いません。 ・手術の15分～30分前になったら排尿をすませ、手術着に着替えていただきます ・弾性ストッキングを履きます ・血圧、脈拍、体温を測定します 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後は同じ病室に戻る予定です ・主治医、看護師による観察があります ・手術中に尿の管、創部からの血液や浸出液を出す管を入れて帰ってきます ・酸素吸入をしていただきます ・場合により痰が多ければ、吸引をすることがあります
点滴・薬		<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば下剤、眠剤を服用していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室に行く直前に医師の指示により筋肉注射をします ・午後からの手術の場合は、9時頃から点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の点滴や、ビタミン剤などが入った点滴を行いません ・痛みがあれば、痛み止めの注射、薬又は坐薬等を施行します
活動	医師の指示がなければ、普段どおりお過ごし下さい 		<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチャーで手術室に行きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・上向きで、ベッド上安静となります。(翌日医師の許可が出るまで) ・下肢は自由に動かしてもよいです
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・普段どおりお過ごしください 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前日は21時から絶食 ・24時から絶飲となります 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶飲食です 	<ul style="list-style-type: none"> ・許可ができれば飲水できます
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースを記入し、入院時に看護師にお渡しください ・医師より手術の説明後、手術の同意書に記入し、看護師にお渡し下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手術中、付き添いの方は、病室か3Fロビー又は、2Fのインフォームドコンセントルームでお待ち下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に医師より手術の結果の説明があります

状態に応じ予定が異なる場合もあります。ご質問があれば医師、看護婦におたずね下さい。

3S病棟 担当医師・看護師

※弾性ストッキングとは・・・圧迫圧の段階的な変化により血流を促すストッキングです。 深部静脈血栓症を防ぐ為に着用します。
 ※深部静脈血栓症・・・足の深部静脈にできた血栓によって、血液の流れが妨げられる病気です。足が急に腫れたり、赤紫色に変化します。肺塞栓症を引き起こします。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	術後1日目	2日目～1週目	8日目～2週目
目標	<p>○血圧、脈拍、体温が安定している。傷が感染をおこさず、抜糸ができる。 ○神経の症状が悪化しない。検査結果に問題がない。</p> <p>○痛みが軽度又はない状態で過ごす事ができる。痛みを報告できる。</p>		
処置・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・朝採血をします ・ベット上でレントゲンを撮ります ・ガーゼ交換時創部の管を抜き、装具を着用します (創が大きい場合は1～2日後になります) ・尿の管を抜きます ・体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷のガーゼは汚染がない場合交換しません ・術後3日目に創を密封できるテープを貼ります ・その後、著明な汚染がなければ術後6日間ははずしません ・術後7日目、傷の状態に問題がなければ半分抜糸します ・術後3日目(月 日)、7日目(月 日)に採血と頸部レントゲン検査があります ・術後7日目には頸部のCT検査が 	<ul style="list-style-type: none"> ・8日目(月 日)、傷の状態に問題がなければ、全て抜糸します ・9日目(月 日)傷を最終確認します ・10日目(月 日)、採血があります ・14日目(月 日)、採血と頸部レントゲン、MRI検査があります 
点滴・薬	<ul style="list-style-type: none"> ・抗生剤の点滴を手術後数日間、朝と夕方におこないます ・手術前に続けて服用していた薬を再開します ・痛みが強い時には鎮痛剤を頓服でお出します 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・装具を着け、医師の許可があれば歩行できます ・歩行が不安定な場合は、歩行器や車椅子を使用して下さい ・トイレは、洋式を使用して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間顎付きカラーを装着して過ごします ・術後4日目(月 日)から医師の許可があれば、頸部より下の入浴ができます ・顎付きカラーを装着した状態で入浴します。初めての入浴の際には入浴中に注意する点を指導しながら看護師が介助します。問題がなければその後は一人で入浴していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・9日目(月 日)、傷の状態に問題がなければ、全身の入浴が可能となります ・入浴の際にはソフトカラーに付け替えます ・術後14日目の頸部レントゲン、MRI検査の結果問題がなければ、術後15日目(月 日)からカラー外しが始まります
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・昼より食事ができます ・装具の影響で口が開きにくかったり、噛みにくい状態となっている為、食事の形態を変更させて頂きます。慣れてきたら元の食事に戻しますのでおっしゃって下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段どおりにしてください 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段どおりにしてください
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・寝る前に頸部の清拭に伺います 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝る前に頸部の清拭に伺います 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーの付け外しは常に看護師が行ないます ・入浴の前後にナースコールをして下さい ・入浴は30分前後ですませるようにして下さい ・看護師より、カラーを外す方法について説明があります(別紙参照)

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	
経過	術後15日目～術後18日目	術後19日目～術後24日目	退院
目標	○カラーはずしについて理解でき、退院に向けた日常生活を送ることができる。 ○社会復帰に向けて身体的、精神的に安定した状態で退院を迎える事ができる。		
処置・検査		・術後19日目(月 日)頸部レントゲン、MRI検査があります	
点滴・薬	・毎日続けて服用する内服がある方は継続してください 		
活動	・1日1時間からカラー外しが始まります 「カラー外し日程表」を元に、決められた時間カラーを外してすごします	・術後19日目(月 日)から、カラーの着用が不要となります ・頸部レントゲン、MRI検査の結果問題がなければ、退院が可能となります	
食事	・普段どおりにしてください  		
備考	・カラーの付け外しは常に看護師が行ないま	・看護師より退院指導があります ・退院薬がある方は薬剤師より服薬指導があります ・入院費概算…約41万円	